

普段の遊びから作品展に向けて

対象:0歳児みにばら組 作成者:宇高加奈 作成日:2019年1月23日

●保育のねらい

- ・安心できる環境のもと、好きな遊びを十分におこなうことで満足感を味わう。
- ・クレヨンを握ったりシールを貼ったりするなどして、手指を使った活動を楽しむ。



●保育の振り返り

握る、つまむ、めくるなど指先の動きが発達し、お絵描きやシール貼りなどの製作を遊びの中でも積極的に取り入れました。今回の作品展に向けて繋がる活動となり、普段から取り組んでいる遊びの延長線として子ども達は嫌がることや不安な表情をすることなく、むしろ“やりたい”という意欲がひしひしと感じられました。

「〇〇くん、何描いたん？」という言葉掛けに「あんまんまん！」と答えてくれたり、全体テーマである【絵本】に沿ってみんなの大好きな“はらぺこあおむし”の大型絵本を用意すると「あ、ちょうちょ」と反応したりと言葉でやり取りすることが増えました。子ども達の興味・関心に寄り添い、さらに意欲を高めていけるような関わりをしていけたらと思います。(豊かな感性と表現)